# **霓**古秀新。

### 岡谷市史編さん室だより『覧古考新』No.34 2025(令和7)年 11月

岡谷市教育委員会生涯学習課 岡谷市史編さん室 編集・発行 岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3F TEL 0266-78-8455



WEBはこちら

覧古考新:古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

~岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして~

## シリーズ 岡谷市史下巻以降のおもなできごと 4 ごみ処理・リサイクル -後編-

広報誌などから旧市史<岡谷市史下巻1982(昭和57)年刊行。編年:昭和20年~昭和53年>以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「ごみ処理・リサイクル」後編です。

#### 岡谷市 ごみ処理の変遷・経緯 (4種の文字色は以下の年表出来事に対応)

- ①可燃物(現 燃やすごみ)、不燃物(現 埋立ごみ)収集
- ②「物を大切にする市民運動」から資源物回収へ
- ③資源物のリサイクルを次々と開始
- ④家庭ごみ有料化と生ごみ・プラスチックのリサイクル ⇒今号で記述

「覧古考新」No.33 既出

西暦	和暦	年	月	出 来 事	
2005	平成	17	3	ごみ処理基本計画を策定(下記参照)	
2006	平成	18	6	一般家庭の生ごみリサイクルモデル事業スタート(間下区・新屋敷区・鮎沢区)	
2009	平成	21	4	市内全地区などで「家庭ごみ有料化・その他プラ分	別回収」説明会を開催(140回開催)
			7	一般家庭の生ごみリサイクルを市内全地区で開始	
2010	平成	22	4	家庭ごみ等の有料化、その他プラ分別回収、	(愛称:ecoポッポ)
				生ごみの拠点回収スタート	bi 8
2011	平成	23	9	岡谷市・諏訪市・下諏訪町の2市1町が、ごみ処理	7 7 5
				を共同で行うため、湖周行政事務組合設立	7. 7. v
2013	平成	25	11	岡谷市清掃工場閉場式 —▶ 裏面記事 ①	9
2015	平成	27	9	サンデーリサイクルデーにて硬質プラスチック製品	
				試験回収を開始	写真:2025年 市史編さん室撮影
2016	平成	28	12	諏訪湖周クリーンセンター本格稼働開始	湖周行政事務組合HP
				施設規模: I I Ot /日(55t / 24h×2炉)	【バーチャル見学のページ】
				施設の特徴:高効率ごみ発電でエネルギーを回収し	内部の様子がよくわかります! 高さま
				CO2を削減。最新の排ガス処理で環境	<b>竟負荷を抑えている。</b>
2020	令和	2	7	レジ袋有料化	
2022	令和	4	3	「2050年岡谷市ゼロカーボンシティ宣言」を発出	
2024	令和	6	6	製品プラスチックの試験回収を一部地区で開始 ──▶ 裏面記事 ②	
			10	湖周行政事務組合が諏訪市板沢地区への一般廃棄物最終処分場建設を断念 ──► 裏面記事③	

#### 「岡谷市環境基本計画」(平成12年 4月策定)

一 岡谷市環境基本条例に基づき、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定されます。同条例の基本理念を踏まえ、長期的な視点から望ましい環境像を定め、その実現に向けた環境保全施策の方向性と、市民、事業者、行政が主体的に取り組むための行動指針を示しています。

現在は、『第5次岡谷市環境基本計画』に基づき施策に取り組んでいますが、ごみ処理やリサイクルに関しては「基本目標1 持続可能なまち 《地球環境の保全》」に記載しており、循環型社会の実現に向け、3Rの推進、廃棄物の適正処理と施設の維持管理を推進していくこととしています。

#### 『ごみ処理基本計画』とは・・・

ごみ処理基本計画は、諏訪湖に面する岡谷市、諏訪市、 下諏訪町の2市1町の湖周地区におけるごみ処理を広域的に 共同で行うことにより、ごみ処理に関する施策の円滑な実施 を図り、循環型社会を構築することを目的とするものです。 計画の主な目的は以下のとおりとなります。

1 ごみ処理の現状把握

湖周地区におけるごみ処理の現状を把握し、広域的なごみ 処理を推進する上での課題を整理します。

2 ごみ処理の基本方針の決定 広域的なごみ処理の推進に向け、ごみ処理の基本的な考え 方や方針を決定します。

3 基本計画の策定

収集から最終処分にいたるまでのごみ処理を広域的に共同 で行うことを前提に、各種施策を策定します。



閉場式で今井市

設備を整え、2000

01年にはダイオキシ を焼却する県内屈指 代目の可燃ごみ処理施 清掃工場を引き継ぐ?

1日に85人のご

対策の大規模改修工

育にわたり市の可燃ご 関開始から27年4カ目 しており、解体を前

工場でのごみの受ける 式を現地で行った。 に解体工事が始 同場前で運転受託業

市清掃工場は、

製品プラスチック(例)

日用品

に新ごみ処理施設 センターが完成する な貢献に感謝したい とあいさつし、 皆さんのさまざま 安全運

感慨深い施設。 3年

さた関係者に感謝し I 一場の閉場式

環境に対する

新ごみ処理 施設建設で

H 清掃 橡 혤 72 感 謝

27/

(#E

新ごみ処理施設建設 も行われた。 いる県環境影響評価

り、ダイオキシン類の 中に解体工事が始ま 書」が公告される今月 飛散防止に配慮した建

翌年度

令和7年4月から市内全地区で 「プラスチック資源」の分別回収実施

じょうろ

ちりとり

(2)

員=上浜公民館前の収収集場所を確認する市

月と7月に8、9回ず沢両区を含む4区で今

の回収袋に製品プラも 「その他プラスチック

収集日に出して

試験回収は花岡、三

つ実施。

容器包装など

もらう。 入れ、

を上浜、 協力を得て、 査で基準外のごみはなかった。今後、 別回収する。 括回収に向けて5日、 岡谷市は来年度から本格実施するプラスチックごみの | として家庭から集める「製品プラスチック」を、分 間下両区を皮切りに始めた。 排出された量や種類を詳しく調べる。 市によると初日は、各収集場所での目視調 市内4区を対象とした試験回収 現在は「燃やすど

上浜、間下 皮切りに

来年 度 の本格実施 4

(令和6)年10月 (3) 2024

は8日、 域に当たる辰野町の反対が強く、了解を得るのは困難と判 市湖南板沢地区に計画する一般廃棄物最終処分場の整備に が、 断した。事業自体は進めて組合は今後、 ついて、 同地区への建設を断念すると明らかにした。 下流 年 現時点では 岡谷市役所で開いた組合議会全員協議会で、 諏訪、 0 下諏訪の3市町でつくる湖周行政事務組合 状態 に区 切 諏訪 5

①②③新聞記事出典 ㈱岡谷市民新聞社提供

①平成25年11月12日 発行 第1面(部分)

②令和 6年 6月 5日 第1面(部分) 発行

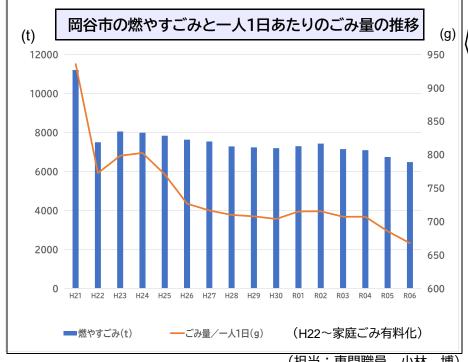
③令和 6年10月 9日 発行 第1面(部分)

# 「ごみ削減によるカーボンニュートラルの実現」を目指して

岡谷市は令和4年3月に 「2025年 岡谷市ゼロカ -ボンシティ宣言」 発出し、2050年 カーボンニュートラルの実現を目指しています。

この目標を達成するため、様々な施策を実施していますが、その一つとして、 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進による、ごみの削減を行って 1 t の燃やすごみを焼却すると、約940 k g-CO2の二酸化炭素 が排出されますので、日常生活において、さらなるごみの減量や リサイクルの意識を高めることが必要です。そのために、岡谷市衛生 自治会連合会などと共に、正しい分別方法の周知などに努めています。

## グラフに見るごみ減量の成果



(担当:専門職員 小林 博)

岡谷市では、平成22年度に 『ごみの 発生抑制とリサイクルの推進』 ₽⊕ 益と負担の公平性の確保』 『環境や ごみに対する市民の意識改革』の3 を目的に掲げ、家庭から出る燃やす みと埋立ごみの有料化を開始しまし これにより、ごみの減量化とリサ イクルの推進が図られました。

有料化と同時に開始した「その他フ ラスチックの分別収集」などの再資源 化の取り組みは、ごみの減量を促進す るだけでなく、市民の環境意識を醸成 「3R」(リデュース・リユース ・リサイクル)の実践につながってい ます。

のような成果から、本市の一人1 日当たりのごみ排出量は年々減少して おり、湖周地区で最も少ない排出量と なっています。家庭ごみの有料化によ ごみの減量化やリサイクルの進展 環境負荷の低減、さらには地球温 暖化の防止に貢献することから、資源 循環型社会の形成を大きく推進してい ると考えられます。

ラフ出典: 岡谷市環境課資料 「令和2年度 家庭ごみ有料化の検証結果について」・ 「ごみ量の推移(H21~R6)」をもとに市史編さん室作成